

# インバウンド復活に向けたタイ市場での情報発信

## 「地域応援プロジェクト 第一弾」を発表

### アフターコロナの地域誘客プロモーション

10月11日から新型コロナウイルスの水際対策が緩和され、1日当たりの入国者数の上限が撤廃され、個人旅行も解禁となった。

コロナ禍前は東南アジアで最も日本への旅行者が多かったタイでは、待ちに待った日本旅行の機運が高まっており、歴史的な円安も需要を押し上げると考えられている。

新型コロナが世界的に流行する前の2019年には、延べ約132万人のタイ人旅行者が日本を訪れた。これは中国、韓国、台湾、香港、米国に次ぐ6番目で、東南アジア6カ国（タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナム、シンガポール、インドネシア）の中では合計384万人の34%を占め最多だった。コロナ禍からの再開局面において、中国、台湾、香港などにおける海外渡航制限の緩和の時期が見通せなかったこともあり、外国人旅行者の誘致に積極的な日本の自治体や観光業からは、タイからの訪日に期待する声を多く聞いている。

コロナ前は、タイ人の訪日旅行者の7割が過去に何度か日本を訪れたことのあるリピーターだった。最初の訪日で、東京や大阪、北海道などの定番ルートを経験。2度目以降は定番以外の観光地に足を延ばすタイ人旅行者が増え始めていた。

そこで、弊社では、個人旅行の解禁を機に、個人旅行を好むタイ人向けに来訪のピークとなる3月～4月の誘客に向け提携先のTetelic社が持つ、訪日webメディア、SNSを活用し、コロナ後の新しい、魅力的な地域の食、文化、観光等の情報発信の特別企画を実施する。

商品：「アフターコロナの地域の魅力発信」

○募集対象：地域団体、自治体、DMO、観光協会、民間企業等 ※タイ市場からの誘客を望む団体様

○募集期間：2022年11/14～12/31

○掲載期間：2023年2月予定から1年

○リーチ先：日本に興味のあるバンコク居住タイ人、20～50才の女性中心

○商品内容：

価格：60万円（税込み）※交通費宿泊費、施設利用料など、別途

内容：

地域内の約4～5ヶ所を取材（日帰り～1泊2日）

日本人在住のタイ人ライターが、飲食店、お店、アクティビティー、ホテル等を体験取材し、記事化、広告配信

- ・tetelic社運営タイ人向け訪日インバウンドメディア「Ohhotirp」サイト内に1年間掲載
- ・webページ5Pまで制作
- ・SNSにて発信 Facebookにて投稿／3回

効果：

- ・web広告配信:5,000PV保証(全記事ページ合計)
- ・SNSにて発信:500,000リーチ保証
- ・広告換算費：100万円以上
- ・タイ人への認知度向上
- ・2023年3月から4月の誘客を狙う（ピークシーズン）

<https://ohhotrip.com/>

訪日インバウンドメディア「ohhotrip」

・ SNSにて情報発信

<https://www.facebook.com/ohhotrip>

「ohhotrip」 Facebookページ



日本在住タイ人ライターの一例

---

## 株式会社JMYSのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/86901](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/86901)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社JMYS 広報担当：鈴木

電話：080-7849-8842 メールアドレス：sales@jmys.tokyo

中小企業庁 デジタルツール等を活用した海外需要拡大事業

パートナー企業

<https://digital-tool.jp/search/>

\*\*\*\*\*

事業内容

●地方創生マーケティング事業

地域活性化・イベント企画・地域ブランディング等の  
プランニング、プロデュース、コンサルティング

●訪日インバウンド事業・調査マーケティング事業

タイ市場向け訪日情報発信web媒体の取扱い（Tetelic社と提携）

<https://hisojapan.com/> 富裕層向けwebsite

<https://ohhotrip.com/> 日本の魅力発信website

facebook： <https://www.facebook.com/search/top?q=ohhotrip.com>